

令和6年度 第3回 学校運営協議会

令和6年11月26日(火)

1 日程説明（於：校長室） 14：30～14：35

2 授業参観 ※6校時(木3) 14:05～14:55 14：35～14：55

学 級	教 科	指 導 者	教 室
1年1・2組	音楽	來住訓世	音楽室
2年1組	社会	山田 真史	2年1組教室
3年1組	英語	藤井茉里菜	3年1組教室

（於：校長室） 15：00～16：00

3 開催要件確認

4 会長あいさつ

5 校長あいさつ

6 議長の選出

7 前回会議録確認

8 報告

・学校行事について

9 熟 議

(1) 参観・行事等への取組の様子

(2) 総合的な学習の時間について

(3) 今後の部活動について

10 その他

・今後の支援について

・今後の運営協議会予定

第4回 2月14日(金) 15：00～

(学校評価・CS 自己評価・R7 年度学校運営方針 等)

・部活動参観（自由参観） 16：00～

令和6年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月25日（火） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木誠、市川相寿、児玉順子、森下廣隆、山下尚美、正久幸廣
- 4 欠席委員 三浦徳志
- 5 学 校 北野昌宏（校長）、沖田暁（教頭）、清水悦子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 清水 悦子（CSディレクター）

8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、正久幸廣委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

9 会議記録

・司会の 沖田暁 教頭から、委員総数7名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

10 協議事項

- (1) 参観の様子
- (2) 総合的な学習について

(1) 参観の様子

・授業の参観後、委員より以下の発言があった。

○修学旅行に行ってきた様子（の発表）を聞いていた。昔は、ただ楽しんでいただけだったが、今は調査や学習をしながら旅行を楽しむものだと感じた。 (市川委員)

○修学旅行で何がよかったかと生徒に聞いたら、二条城の屏風に感銘を受けたとの返答があった。そういう見方もあるのだなと、生徒の視点の多様性を感じた。 (正久委員)

(2) 総合的な学習の時間について

・沖田暁 教頭から職場体験を引き受けてくれる職場確保のお願いがあった。

○せっかくなので、子供たちがなりたいものややりたいものがあるのなら、関連する職業を探してあげたい。 (児玉委員)

○いくつか受け入れてくれる所を探して相談させていただく。 (市川委員)

- ・ 沖田暁 教頭から、令和 7 年度以降の「総合的な学習の時間」の基本方針について説明があり、委員から以下の発言があった。

- 資料を拝見してキャリア教育との関連が分かりにくいと感じる。(児玉委員)
- 資料を見て、R 7 のテーマは R 6 に比べ、一步進んだテーマになっていると感じた。ただ学ぶだけでなく、地域性を考慮して考えられている。しかし、3 年の福祉学習というテーマは、「福祉」という言葉が「介護・高齢者支援」という考えになりがちなので、広い視点でとらえられたらと思う。たとえば「交通弱者」などいろいろな視点で全体をとらえるとよいのではないかと思った。(山下委員)
- 春野でずっと生活しているとあたり前すぎて逆に春野の魅力を知らない。外から来て春野で生活している人から話を聞くと何か、春野のよいところを見つけられるのではないかと感じる。(市川委員)
- 外から来た人は、魅力の発信の仕方が違う（うまい）と感じる。また、他校の取組で、1・2 年で追究してきて挙げた課題をさらに 3 年で追究するというものを見たことがある。3 年間を貫くものがあるが、あってもよいと思う。(正久委員)
- 1・2 年で春野の魅力を発見・体験し積み上げ、最終的に 3 年でそれらを外の人に向けて発信できる場ができるとよいと思う。(児玉委員)

その他連絡事項等

- ・ 沖田暁 教頭から以下の連絡があった。

- 今年度から一つの行事として開催することになった秋輝祭・黎明祭について、名称が「蒼天祭（そうてんさい）」に決定した旨の報告があった

- 中体連浜松地区大会の結果、今後の日程報告があった

- 今後の運営協議会予定の連絡があった。

第 3 回 令和 6 年 11 月 26 日（火）14 時 30 分～

（今後の支援について 等）

第 4 回 令和 7 年 2 月 14 日（金）15 時 00 分～

（学校評価・CS 自己評価・R 7 年度学校運営方針 等）

- 部活動参観（自由参観・16 時 00 分～）のすすめがあった。

R6蒼天祭 生徒事後アンケート

○スローガンの達成度

「煌めき～創り出す新たな伝統」

達成できた	30人
まあまあ達成できた	11人
どちらでもない	3人
あまり達成できなかった	1人
達成できなかった	0人

○「地域に元気を届ける春中生」を見せられたか。

できた	29人
まあまできた	11人
どちらでもない	3人
あまりできなかった	1人
できなかった	1人

○蒼天祭の満足度

満足した	35人
まあまあ満足した	7人
どちらでもない	3人
あまり満足できなかった	0人
満足できなかった	0人

○仲間のよいところを見つけられたか。

見つけられた	40人
見つけられなかった	5人

令和7年度以降の「総合的な学習の時間」について（案）

☆「総合的な学習の時間」の目標実現を通して育成を目指す資質・能力に加え・・・
春野に誇りをもつ、春野を愛するといった「郷土愛」の醸成も図る。

□3年間を貫くテーマとして・・・

「春野で生きていく」もしくは「春野と関わりながら生きていく」を考える。

そのために自分や自分たちができることとは

→自分はこれからどう生きていくか、生きていきたいか を考える。

○上記課題の追究を行っていくにあたり、

その視点を段階的に養うための各学年のテーマと追究課題

・1年 「春野に招く」

春野に人を呼ぶために、観光資源や特産物等をどう活用するか。

また、それらをどう発信していくか。

このテーマに関わる活動を行っている方の思いとは。

・2年 「春野で働く」

春野にはどんな仕事があるのか。春野で働くことにはどんなよさや課題があるのか。

春野で新しく興せそうな仕事とは。春野で働く人を増やすには。

春野で働いている方の思いとは。

・3年 「春野で（と）生きる」

[1学期]

○春野の福祉 → 視点を増やすための学習・活動

春野の福祉（住む）よさや課題とは。

[2学期]

○3年間のまとめとして・・・

「春野で生きていく」もしくは「春野と関わりながら生きていく」を考える。

◇それぞれの節目に追究したことを発表する機会を設ける。